

「あなたは、15の自分に何をどう伝えますか？」への感想

当 HP 記事「あなたは、15の自分に何をどう伝えますか？」を目にしてくださった方から、早速、感想をいただきましたのでご紹介します。

中には、「15の私へ」の手紙を寄越してくださった方も。

その手紙をご本人の承諾を得え、「元学生の『15の私へ』の手紙」として HP に掲載しました。

その記事を目にしてくださった方からも感想を、また、「拝啓 十五の君へ」が課題曲であった全国合唱コンクール中学校の部の放送を見た方からも感想をいただきましたので、共に紹介します。

更に、感想をいただきましたら、随時当ファイルに追加・更新します。

2008. 10. 24. 阿部幸泰

⑭（「15歳の私へ」と「19歳の私より」と題する手書きの手紙を学生が届けてくれました。スキャンしてこのファイルの最後の P に貼付しましたので、ご覧ください。）

⑬ 15才の自分へ。

元気ですか？中学三年かー若いな!!

今私は 19 才です。目標に近付くため〇〇短大へ通ってるの。四年後のあなたです。

中学の頃も辛い事たくさんあったよね。

今となっては笑い話に出来るけど… 男子の間で女子のことをあだ名で呼ぶ。

私はドラゴンボールのギニューって呼ばれてたんだよね。

どんだけあの時泣いたかな？

嫌われてるのかなって、苦しくて本当学校行きたくなかったよね。

だってクラス外の、階段も違うクラスの男子にまで呼ばれていたから。

夜遅くまで友達が電話付き合ってくれたよね。

友達のみーんな味方で守ってくれたよね。

ある 2、3 人の男子は私がそんな風と呼ばれてることに嫌がってるッて知って、他の男子にやめろよ!!ッて言ってくれてたよね。

でもやめなかったよね。あいつら…

あとから知った話。

嫌いでなんか言っていないって。おもしろいから。

それだけの理由らしいよ!!

ねえ??

聞いて!!今じゃその男子と凄いい仲良しになったの!!相談されたり、遊ぶのはもちろん!!!  
中学卒業して会わなくなって三年。話をしなくなったのは六年だったの。六年間もの間話をしなかった人と仲良しなんだよ??

きっと 15 才の私からは想像も出来ないでしょう。

もう二度と会いたくないって思ってたんだから。

それからもたくさんしたことあったよ。

いっちょ前に恋愛したり。

忘れないでいてほしいこと、気をつけてほしいことは、素直な気持ちを持っていて欲しいな。

私ひねくれて、強がりだから。

素直さ足りないからね!

思いやりの心はそのまま持ち続けてね。

⑫中学生の合唱コンクールで課題曲を作詞作曲者本人の演奏も生放送で聴きました。

中学生とは思えないほど素晴らしい演奏でした。

また、本人の演奏は訴えるものが違うなあと思いました。

審査発表前に中学生（特に女子）は涙を流して聴いていました。課題曲として何百回と練習してきた事を振り返ったりして思い出すことと感動とでいっぱいだったのだろうと思

いました。

⑩ 私が 15 の 私に出すなら、「あなたが今持つてる劣等感太っている事やちょっと勉強も下がったり…。

でもそんなことずうっと先どんなことも自分の努力しだいで変わるものだよ先いろんな事が待ってるよ自分次第でどうにでもいいようにいられるよ」って出したいですね。

テレビ 素晴らしい歌声で また手紙のコーラス たっぷり きかせて貰って又 アンジェラさんの歌にも涙しながらずっと見てました 離れられなかったですね！

⑩ 「15の私へ」、見てみました☆彡

辛いこと、苦しいことを乗り越えたからこそ今の自分がいる。自分が辛い思いをしたからこそ相手の痛みを分かってあげることができる。

そういう経験は一生の財産になると思いました。

私も「15の私へ」手紙を書こうと思います。

書いたら先生に送りますね(^^)

⑨ 「15の私へ」読みましたよ♪

実際、私はまだ13歳ですが、書いてあることがまるで自分のことが書かれているような気がしながら読んでいました。

確かに、クラスの女の子のリーダーみたいな人が私のクラスにもいます。(多分、小学校・中学校・高校、どの学校に行っても、誰か1人は必ずいると思いますヨ！)

「○○ちゃんに着いていかないと！言う事を聞かないと！・・・嫌われる、いじめられる・・・」と思ったことは私もあります。

でも、ウジウジしてると反対に嫌われることに最近きずきました。(実際にそういう子がいました)

特に女の子は、グループ行動なので、けっこうもめたりで大変です。

だけど、1歩踏み出せば、見えなかった周りが見えたりすることも中学校に入って分か

りました。

確かに、苦手な人・怖い人・・・ クラスにはたくさんの個性を持った人がいます。

あえて「仲良くなろう！」とは思えませんが、機会があったときは嫌がらず、一緒になって頑張りたいと思います！！

⑧「15の私に…」の記事は、素直さ伝わってきて清々しさを覚えました。

イマのワタシは、15の時を思い出せませんねえ～。

随分前の歳なんだなあ（^^； 長生きし過ぎカモ。

⑦（元学生からの後日のメール）

早速お返事をくださってありがとうございました。

しかも、恥ずかしながら掲載していただき、感想まで頂くなんて幸せだなあと仕事で疲れた心が少し温まって元気になりました。

むしろ、感想をかいてくださった方々から学ぶものの方が多いようにも思います。

子どもが好きで、子どもと係わりたくて、子どもと一緒に成長したくて教員になったのに、慣れない事務仕事や職場の人間関係に疲れ果て、出勤することも憂鬱になることもありました。

そんな私に、ある1年生が朝、こんな一言をかけてくれました。

「先生、学校って楽しいところだね！」

それを聞いた私は鳥肌がたつ思いでした。

家族や友達とうまくいかなかったときに、学校にいけば先生がいて、友達がいてホッとできる、頑張れる、そんな場所に学校をしてみたい・・・。

そんな思いを抱き、再び頑張ろうと思ったり。

学校という現場で様々な人と係わる中で、特に子どもと係わる中で、出会いや別れから学ぶことってとても多いと感じています。

今回書かせてもらった手紙もそんな思いから書けたものかもしれないと今になって思い

ます。

いい機会を与えていただいた阿部先生に感謝です。本当にありがとうございます。

仙台に帰るときは、ご連絡差し上げますのでどうぞよろしく申し上げます。

⑥ HP を拝見させていただきました。

元学生さんの「15の私へ」の手紙、素敵ですね☆

⑤ 素敵な手紙ありがとうございます。

そうなんですよね、15歳の頃って人間関係で凄く悩んだ記憶があります。

自分の存在価値については否定していましたね。

私が居なくなっても誰も悲しまないなんて本気で思っていましたよ。

特に高校生の時は凄く精神的には不安定でしたね。

当時のバレー部の仲間に助けられましたね。何があってもそばに居てくれましたね。

今でも付き合いがあるのは当時の仲間です。何年ぶりかにあってもすぐに昔にタイムスリップします。

彼女達は私が凄く変わったと言います。昔はだいぶネガティブだったのでしょうかね  
(T\_T)

一人では変えられることは出来なかったと思います。子ども達が私を変えてくれて、支えてくれる人、主人や家族、阿部さん、そして多くの友人達、たくさんの方がいてくれたからと思います＼(^o^)/

あなたは、15才の・・・のHPを読んだ時に、子ども達に今の状況を手紙に書いておかあさんが預かってあげるよ、あなたが30歳になったら渡してあげようか！なんて話していました。

よくよく考えたら、子供の子供が同じ年になったときに渡してあげるのがベストかな？

それまで私が生きているかが問題なのですが・・・

④（HP「元学生の『15の私へ』の手紙」を読んで、）私より若い方なのに、15の頃の体験が今の職場で生かされていて立派になられたんだなあと感じました。

私は逆に、いじめられたくはないけれど、一緒にいじめたくないという想いが強かったので、みんなに合わせずにいつも一人でいる生徒でした。

なので、ターゲットの人がいなくなれば私の悪口が始まり、何をしても気にされて楽しくない義務教育時代でしたが、これを乗り越えれば高校で皆とお別れが出来る！という希望と週一度の音楽の時間に伴奏したり歌ったりする事を楽しみに通っていました。

今の時代であれば自閉症と間違われたかもしれない…等と思い出しました。

これで良かったのか？もう少し上手く付き合う方法があったのか？と思うこともありますが…

私は何でも遅咲きなので、まだその頃の私に自信を持って書ける事は少ないので、卒業までに文章に出来るようになりたいと思っています。

③「あなたは、15の自分に何をどう伝えますか？（9/29）」のHP拝見しました。

ちょうど久しぶりに家でくつろいでいたとき、NHK教育で特集をしており、その後パソコンを開くと先生のHPでアンジェラ・アキの「手紙」のことを特集していて、びっくり。

TVや先生のHPから私なりに感じるものがあつたのでメールしたくなり、今書いています。

恥ずかしながら、手紙調に綴ってみたいと思います。

【 「15の私へ」

拝啓、元気で中学校へ通っているでしょうか？

きっと今手紙を書いている私は、あなたが予想もしなかったような未来にいると思います。

だって、授業中は先生の話などろくに聞かないで、「『先生』って大変だよな～。ましてや全部の教科を教える小学校の先生なんて絶対無理」なんて思っていたのですから。

15歳のあなたは、友達関係でとても悩んでとてもつらいことと思います。

自分が嫌われたくない、いじめられたくない、そんな思いから友達の言うことに従うばかりで、自分の思っていることを言えないのはとてもつらいでしょう。

それで、どうして私だけがこんなに我慢しなくちゃいけないの？学校生活なんてつまんないと思っているでしょ。

自分のことが好きになれなくて、もっとはっきりものの言える人間になれたら…。○○ちゃんのようになれたら…。なんて思っているでしょ。

でも、9年後の未来にいる私から一言だけ言わせてください。

あなたのその葛藤は決して無駄ではないからね。

あなたが、15の時に悩んだことが今の私にとっては大きな強みなのです。

なぜなら、教師となった今、あなたと同じようなことで悩んでいる子どもの痛みをほんの少しだけ分かってあげられるから。

だから、15のあなたに私は感謝します。きっとあなたからみたら、もう大人のお姉さんになってしまう私だけ。

でも、悩みのない毎日を今の私が過ごしているわけではないよ。

むしろ、いろんな人と出会い、経験することも増えた分だけ、つらいな、疲れたなと思うことも多いです。

でも、「まだ大丈夫、もう少し頑張ってみよう」そう思えるのは、あなたと私がこの9年間で作ってきた道の途中で大切な人たちとの出会いと別れ、その人たちと過ごした日々があるからだと思います。

お互い、相手への感謝の気持ちを大切にしてくださいね。

24歳の私より。】

長々とすみません。思いは沢山あるのに、うまく綴れなかったですが、もしお時間のあるときに読んでいただけたら嬉しいです。

仕事で上手くいかず、悩んだり、私はこの仕事についてよかったのかななんて思うこと

がよくあります。

今回、過去の自分へ手紙を出すことで少し原点にかえり、明日からまた子どもと会いたいな、仕事頑張ろうと思えました。

こういった機会を与えてくださった阿部先生にも感謝です。ありがとうございます。

②アンジェラ・アキの「手紙」は、話題になっていたことは知っていたのですが、じっくり聴いたことはありませんでした。

15の自分に宛てた手紙（返事）だったんですね…。

無料視聴を聴き、何だか涙が出てきました。

そして「私は15の自分に何を伝えるだろうか…」といろいろ考えさせられました。

毎日生活していく中で、楽しいこと、嬉しいことばかりでなく、悲しいこと、辛いこと、悩むことなど、今も多くあります。

私も、アンジェラさんがうたっているように「人生の全てに意味がある」と思って前向きに生きていこうと思っていますが、落ち込んだり、くよくよしたりの連続です。

今、考えていることや今の悩みを60の自分はどう導いてくれるか、60の自分自身に宛てて手紙を書いてみるのもおもしろいなと思いました。

当然なのかもしれませんが「今の自分」と「15のときの自分」とを比べると、大きく変わったなと実感しています。

これから60歳になるまでの30年弱、人間的に成長できたと実感できるような生き方、そして60の自分が今以上に「幸せ」を感じていられるような過ごし方をしていきたいなと思いました☆

①じつは先週の金曜日に、始めて「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」を聴いたところでした。

NHKを見ていて、ただ流すように見ていたテレビでしたが、いつの間にか聴き入り、うるうるしていました。

すごく胸にしみたんですね。

私はたまたま耳にしてから、中学のアルバムや文集を引っ張り出して、かつてを振り返ったりしてました。



十五の私がいちばんなりたくなかった「大人」になった私は、やっぱり「大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど 苦くて甘い今を生きている 人生の全てに意味があるから 恐れずにあなたの夢を育てて」と感じ、そして、「ありがとう」です。

「自分とは何でどこへ向かうべきか」まるでわからずに…けれど、「荒れた青春の海は厳し」くて『大人になんかなりたくない』とっていた事さえ忘れていました。

少なくとも、31才の今の私は、十五の私に恥ずかしい事なんて一片もありません。

十五の私が 31才の私をどう思ってるかは、まさにそれが答えに思います。

私自身、中学時代の合唱ってコトに熱い想いと思い出があって、それについての今の中学生の熱さを見て、いろんなコトを思い出しました。

クラスメート、家族、部活動、生徒会、行事、将来、自分の存在意義…

今思えば鼻くそみたいなコトにも真剣で本気で、全力でした。

そんな時期、出来事は財産で、糧で紛れもなくわたし自身です。

今は、一番なりたくなかったオトナになって、したたかさやズルさも身に付けてしまいつつも、それはかつての自分に恥じるコトはなくて。

あの頃の自分に「ありがとう」ですし、「ボチボチしあわせだよ」と笑顔で報告したげたいものです☆☆☆

今あなたは何をみて、何を感じていますか？ 目標もなく、毎日をただなんとなく生きていませんか？  
勉強なんかしたくない！ 高校もどこに入りたかすら決まていない状態だと思います。

そして、友達も何人かいるけど、本当の自分を出せる場所があるか？ 楽しい日々を暮らしているか？  
ま、と答えにのまるとは。14歳のあなたは毎日学校に行くのが嫌で嫌でしょうがなかったら？

部活の友達関係がずとうまくいなくてしんどかったら？ そね、あなたもちゃんと乗り越えられることが  
できたから。これから先も、つらいこと、悲しいこと、迷い出たこと、失敗したことがあっても、  
それは全て乗り越えられることだよ。迷ったって、つまずいたって、失敗したって全然かまわない。

迷い出たことばかしてはいいよ。ちゃんと立ち向かえばちゃんと乗り越えられるから。  
15歳の私は、大好きなおじいさんの死と直面するんだよ。考えられる？ 心の中から光が消えたりのように  
目の前が真暗になって、泣き止まないんだよ。怖い？ 大妹。そういう時乗り越えられる人なんだよ。

あなたは「おじいさんの人生は幸せだったか？」って何回もたずねたんだよ。そして「こんなにくたさの人が泣いて  
くれるのだから、おじいさんはあんな偉大な人だった。幸せだったよ。おれ、ちゃんと受け入れることができたんだよ。

そして「さー、心の中におじいさんがいて私を守ってくれるんだよ。こうして私は辛いこと、悲しいことを自分の力に  
変えて元気でいるんだよ。今あなたが経験していること全てには意味があって、無駄なこと  
など一つもないんだよ。だから、今を精一杯生きて下さい。目標がなくても、ただがむしゃらに生きて下さい。  
今の私はあなたが努力してくれたからここに立ちいられるんだよ。本当にありがとう。

4年後の自分はどうなっているかとか考えられる？ 19歳になっても泣き虫なままだよ。友達関係で  
ずたずた悩むの。本当はずっと泣いているくせに、何も悩まないのがないよ。頑張って笑うんだよ。人に  
あわせて笑顔を振りまく。今の私うんざりして笑えないかな。必死なんだよ。信じられる？ 喜んでちゃんと成長して  
たいんだよ。！うんざりしないよ。私はまだ成長の途中だから。今の私にはちゃんとやりたいことがあるんだよ。

それに向けて成長しているの。そして、泣き虫でも強くなったよ。元気でいるの。15歳の私は己に勝っていますか？  
19歳の私も己に勝っているとは言えませんが、月々のための努力はしているよ！ 一人暮らししてあげて  
やることばかりだけど、ちゃんと元気でいるんだよ。毎日お母さんのご飯食べて、寝て、お母さんに会いに来て  
て学校に行っている私が一人暮らしして生きていけるんだよ。元気でいるよ。今は焦る必要なんてないよ。  
ゆっくり自分の足で一歩一歩、歩いていけば道はここにつながっているから。途中迷うことはい  
やでもいいんだよ。それも含めて今の自分がいるから。迷った数だけ経験を重ねて、経験を  
重ねて自分だけ成長できるから。だからいろんなことに挑戦してあげて下さい。今私は自分が歩んで  
きた道が間違っていたなと思うことは一度もないから、自分に自信をもっと突き進んで下さい。

進むときは、まわり(環境・人)も大切にしてください。どこかであなたと出逢うことを祈っている人がいるも  
知らないよ。あなたに大きな影響が及ぼす何がどこかに転がっているかもしれないよ。  
だから目の前に広がるすべてを大切にしてください。私は4年後の世界であなたのことを待っています。